

News Release

2010年03月08日

ディーリンクジャパン株式会社

**IEEE802.11Nワイヤレス集中管理ソリューション
ワイヤレス集中管理スイッチ「DWS-4026」及び
無線アクセスポイント「DWL-8600AP」販売開始のお知らせ**

ディーリンクジャパン株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:廖 晋新(マーティ・リヤオ)、以下: D-Link)は、IEEE802.11Nに対応したワイヤレス集中管理ソリューションとして10ギガアップリンクを搭載するレイヤ2+ワイヤレスギガビットスイッチ「DWS-4026」及びIEEE802.11N対応高速無線アクセスポイント「DWL-8600AP」を2010年3月8日からパートナー各社を通じて販売開始いたします。

DWS-4026は10/100/1000BASE-T 24ポート、1000BASE-T/SFP 4コンボスロット及び10ギガアップリンク2スロット、DWL-8600APは10/100/1000BASE-T 1ポートが搭載されており、DWS-4026とDWL-8600APを組み合わせることで使用することにより、最大64台のIEEE802.11N対応の高速無線アクセスポイントを管理することができます。各製品の標準価格は下記の通りとなります。

- ・DWS-4026(標準価格: ¥1,480,000)
 - 10/100/1000BASE-T × 10 ポート
 - 1000BASE-T/SFP × 4 コンボスロット
 - 10ギガ拡張 × 2 スロット
- ・DWL-8600AP(標準価格: ¥138,000)
 - 10/100/1000BASE-T × 1 ポート



DWS-4026は1筐体当たり、最大64台のDWL-8600APを管理することが可能です。機能に関しては現行のワイヤレススイッチDWS-3024L/3026以上の充実した機能を搭載しており、新たに追加されたスイッチクラスタリング機能により、最大8台のDWS-4026を同一クラスタリンググループで集中管理し、DWL-8600APを最大256台、ワイヤレスクライアントを最大8,000台まで管理することができ、同一クラスタリンググループ内でのワイヤレスローミングも可能です。更にワイヤレス侵入検知機能は不正なAPやクライアントを検知し、ネットワーク通信の遮断等を行うことができ、ワイヤレス特有のセキュリティ問題に対し検知・分類・無効化を施行することで、ワイヤレスネットワークのセキュリティ向上を図ることができます。

802.3af PoEで受電可能なDWL-8600APはIEEE802.11Nに対応し、2.4GHz及び5GHzの同時利用を実現したデュアルバンド無線アクセスポイントです。DWL-8600APはDWS-4026と組み合わせるだけでなく、スタンドアロンでも使用することが可能なハイブリッド・高速無線アクセスポイントです。初期導入時のネットワーク環境では数台のアクセスポイントのみでも、ネットワーク環境の変化に伴う拡張に応じ、アクセスポイントが増加した場合に

も、ワイヤレススイッチDWS-4026を追加することで、資産を活用したままアクセスポイントの集中管理を可能とするアーキテクチャに移行することができます。またDWL-8600APは効率的な電力消費設計のため、省電力機能に対応しています。

D-Linkの802.11n 省電力ワイヤレスソリューションであるDWS-4026 及びDWL-8600APを使用することで、小規模から大規模のエンタープライズに応じたワイヤレスネットワークの構築及び拡張を行なうことができるだけでなく、先進の省電力設計に対応しているため、優れたコストパフォーマンスとビジネス環境において安定したワイヤレスネットワーク通信を提供致します。

【D-Link 社について】

世界 68 ヶ国、166 拠点を有するグローバルネットワークベンダー・D-Link は 20 年の歴史を持ち、エントリーレベルからハイエンドまでのスイッチ、ワイヤレスLAN 製品群、メディアコンバーター、IP カメラ、ネットワークセキュリティ等、ネットワークの全分野を網羅する総合ネットワークソリューションを提供しています。D-Link はこれらの製品を”統合”させることを理念とし、現在はセキュリティと“グリーンIT”に注力しています。日本ではOEM事業を展開した後、2005 年 7 月に現日本法人を設立、自社ブランドメーカーとして、D-Link 製品の国内への浸透を図っています。